

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	令和7年度第6回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	令和7年9月26日(金) 18時30分から20時00分まで			
開催場所	墨田区役所 12階 122会議室			
出席者数	<p>【委員】</p> <p>来場による参加 宇田川委員、平野委員、正田委員、小木曾委員、橋本委員、門倉委員、牛久委員、小林委員、石井委員、大垣委員、松村委員、河田委員</p> <p>オンラインによる参加 森下委員、真鍋委員、碓氷委員、佐野委員 計16名</p> <p>【事務局】</p> <p>環境政策課長、環境政策課主査、環境政策課職員</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	なし	
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 第四次墨田区一般廃棄物処理基本計画の中間改定について 2 第三次すみだ環境の共創プランの策定について 3 区民が緑化に取り組む方法について 4 その他連絡事項 			
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第四次墨田区一般廃棄物処理基本計画(中間改定)中間報告【資料1】 ・第三次すみだ環境の共創プラン(中間報告)【資料2】 ・緑化に関するフィールドワーク【資料3】 ・【吾孺の里】4月・5月イベントチラシ【資料4】 ・【吾孺の里】9月イベントチラシ【資料5】 			
会議概要	<p>議題1 第四次墨田区一般廃棄物処理基本計画の中間改定について 事務局から資料1をもとに、第四次墨田区一般廃棄物処理基本計画の中間改定についての説明を行った。</p> <p>■意見・質問等</p> <p>委員：プラスチック分別協力率の22.6%とは、実績値データにある資源化率とは違うものか。</p> <p>事務局：プラスチック分別協力率と資源化率は違うものになっている。資源化率とは、古紙や段ボールなど資源になり得るものがどれだけ資源になったかを示してい</p>			

る。プラスチック分別協力率は、資源の中でもプラスチックに特化したものになっている。

委員：資源化可能なプラスチックの排出量は、どのように算出したのか。

事務局：墨田清掃工場でサンプルとして集めた燃やすごみ・燃やさないごみ・プラスチック資源のごみ袋を実際に破いて確認し、どの程度、資源化対象のプラスチック資源が入っているかを調べ、数値を出している。実際に調べたところ、資源化対象プラスチックが 8,076 t 排出されており、そのうちプラスチック資源として排出されている量は 1,829 t であった。

委員：1,829 t しか資源化されていないということか。

事務局：資源化対象プラスチックの排出量が 8,076 t であり、プラスチック資源への排出量 1,829 t を引いて算出すると、6,247 t のプラスチックが未だに燃やすごみや燃やさないごみへ排出されているという意味である。

委員：プラスチック分別協力率を上げるためには、きちんとプラスチック容器をきれいにし分別することが必要ということか。

事務局：その通りである。

委員：この排出量は、きれいにされた資源化可能なプラスチックときれいにされておらず資源化不可能なプラスチックに分けているということか。

事務局：この排出量では、7~8 割の割合でプラスチック資源が燃やすごみや燃やさないごみとして排出されているということの意味している。

委員：排出されたプラスチックの中で、2 割程度しか資源化できていないということか。

事務局：そうである。

委員：そうであれば、プラスチック分別協力率の式は総ごみ量に対する資源化可能なプラスチック量であると思うし、区民に対してわかりにくいと思う。

事務局：総ごみ量に対する資源化可能なプラスチック量にしてしまうと、生ごみなども含まれてしまい数値が不安定になってしまう。

委員：プラスチック分別協力率というのは、資源可能なプラスチック量のうち、き

れいに洗われたプラスチック量ということか。

事務局：分別協力率 22.6%というのは、例えば、墨田区全体で排出されたプラスチックが 100g あり、そのうち資源として正しく分別して排出されたプラスチック量が 22.6g ということである。

委員：分別行動そのものを表す指標を設けたほうが、区民もわかりやすく、プラスチックの分別もより普及していくのではないか。

事務局：プラスチック分別の重要性については今後も積極的に普及啓発を行っていくが、個々の区民の分別行動自体を数値化して指標とすることは技術的に困難である。

議題 2 第三次すみだ環境の共創プランの策定について

事務局から資料 2 をもとに、第三次すみだ環境の共創プランの策定についての説明を行った。

事務局：前回の会議では、将来像について「一人ひとりがみんなの未来を創る」や「持続可能な」という言葉を入れてはどうかなどの意見が挙げられた。現在、地球温暖化が気象災害や生態系など様々なところに影響を及ぼしている。墨田区としては、この気候危機を区民に危機意識を持ってもらうため、「一人ひとり」という言葉を用いて、区民一人ひとりに意識を持ち行動していただきたいという思いがある。また、「ゼロカーボンシティ」が曖昧でわからないのではないかという意見が出ていたが、この共創プランに「ゼロカーボンシティ」を記載することで、この言葉とそのための取組を区内に普及させていきたい思いがある。

■意見・質問等

委員：将来像「一人ひとりが未来を創る ゼロカーボンシティすみだ」は確定か。

事務局：現時点での案である。

委員：未来の危機を喚起するためにも、「一人ひとりが未来を創る」より「みんなで未来を守る」のほうが良いのではないか。

事務局：資源環境審議会でも同様な意見があったが、「みんな」にすると一人ひとりの責任感が薄れてしまうのではないかという意見が出ていた。

委員：守るというのは、消極的なイメージがついてしまう。意識を変えて創り出していくほうが良いと思った。

委員：区民に対してゼロカーボンという言葉は伝わるのか。説明書きを入れたほうが良いのではないか。

事務局：環境用語は難しいものが多いので、コラムとして入れることを検討している。

委員：共創プランの中に、「一人ひとりが集まってみんなになる」という主旨を入れてほしい。例えば、色々な施策があるが区民一人のみに焦点を当てた施策を取り入れていくのではなく、区民一人ひとりが集まって行える施策を取り入れてほしい。

事務局：具体的な将来像に加えて、検討したい。

委員：将来像「一人ひとりが未来を創る ゼロカーボンシティすみだ」が基本目標1「ゼロカーボンシティすみだの実現」にしか関連していないのではないか。

事務局：基本目標1～5はそれぞれ独立しているのではなく、関連している部分もあるので、基本目標の見せ方を検討したい。

委員：プラン策定の背景で危機意識が持てる内容になっているが、区民に危機意識を持ってもらうために将来像にも危機意識が持てる内容を加えてよいのではないかと思う。また、将来像の説明文で「未来の子どもに引き継ぐため」と書かれているが、2035年の墨田区のイメージではイラストとして描かれていないので取り入れてはどうか。

委員：2035年の墨田区のイメージイラストについて、墨田区の地図が掲載されているので、区内の実際の場所をイラストに組み込んではどうでしょうか。

事務局：2035年の墨田区の将来イメージに実在の写真を使用すると、特定の場所に将来像が限定されてしまい、区全体のビジョンとしては誤解を招く恐れがある。イラストの表現方法については、ご意見を踏まえて今後調整し、検討していきたい。

委員：将来像は一人ひとりに力点を置くということだが、基本目標の中で一人ひとりができることを書き、イラストを取り入れたらどうか。また、この共創プランはどのように配布するのか。

事務局：区ホームページに公開する。子ども向け冊子はイベント等で配布したい。

委員：それだと区民が見る機会が少ないのではないか。区施設や学校などに配布し、普及啓発を行ってほしい。

	<p>事務局：計画に沿って普及啓発を行い、学校についてはすみだ環境学習ツールを使って広めていきたい。</p> <p>委員：ゼロカーボンシティと書かれているが、なぜカーボンをなくすのか、またカーボンが増えた場合に地球にどのようなことが起こるのかという説明がない。区民向けに説明があるのではないか。</p> <p>事務局：その通りである。コラム等にして、わかりやすく伝えていきたい。</p> <p>委員：なぜゼロカーボンにするのか。カーボンを減らすのは理解できるがカーボンをなくすのはなぜか。</p> <p>事務局：その説明も含めて、わかりやすく伝える。</p> <p>委員：将来像でゼロカーボンに限定しているが、なにか理由があるのか。</p> <p>事務局：最重要課題は地球温暖化対策であると考えてるので、ゼロカーボンを強く打ち出している。</p> <p>委員：普及啓発について、すみだ環境の共創プランの冊子を重点だけ絞り出し A4 サイズのチラシにまとめ、幅広い世代が見られるようにポスティングするのはどうか。また、いろいろな施策の結果があるが、墨田区で特に良かった施策の結果を記載してはどうか。</p> <p>事務局：検討していく。</p> <p>議題 3 区民が緑化に取り組む方法について 議題 3 に関連して 8 月 29 日に実施したフィールドワークの報告のため、資料 3～5 の提供を行った。</p> <p>議題 4 その他連絡事項 次回の会議に関する連絡を行った。</p> <p>以上</p>
所 管 課	墨田区資源環境部環境政策課環境政策担当 内線 5472